

北海道知事

高橋はるみ 殿

エゾシカによる農作物等被害減少に向けた

# 要 請 書

平成 21 年 12 月

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

近年、地球温暖化による暖冬の影響などで、エゾシカの生息域が拡大し、個体数が急増しております。

国は、このほど2008年度の野生鳥獣類の農作物被害額を公表しましたが、エゾシカによる北海道の被害額は、前年比8億円増の39億9300万円にのぼり、農家経済に深刻的な打撃を与えている現状にあります。

また、農道や車道へ頻繁に飛び出し、交通事故や農作業進行の妨げとなるなど、エゾシカによる被害は拡大しているのが現実です。

以上の状況を踏まえ、エゾシカによる農作物等の被害減少に向け、下記対策を講じていただきますよう、特段のご配慮を賜りたく要請致します。

## 記

1. 個体数が増加するエゾシカについては、効果的な捕獲・駆除対策を講ずるため、以下の検討と実施を図ること。
  - (1) 禁猟区域の縮小・撤廃
  - (2) メスジカの捕獲・駆除の拡大
  
2. 捕獲・駆除したエゾシカについて、狩猟者への処理費用などの補助並びに処理可能頭数の拡大に向け十分な処理場を確保すること。
  
3. 農業生産への影響を最小限に抑えるため、シカ柵等の基盤整備事業を拡充するとともに万全の予算を確保すること。